

## 東京都公立小中学校教員の皆様へ

新年度がスタートして、早いもので、2か月余りが経ちました。1学期は、校外学習や運動会等の行事も多く、それぞれ担当する校務等に精力的に取り組んでいらっしゃると思います。

さて、皆様は、島しょ地区の学校について、どれくらいの知識や関心をおもちでしょうか。東京都には、北は伊豆諸島の大島から南は小笠原諸島の母島まで、全部で11の島に計30校の小学校と中学校があります。このうち、教育庁大島出張所の管内には、大島、利島、新島、式根島、神津島の5つの島に小・中学校各7校、計14校の学校があり、全体で約200名の教員が在籍しています。教員の大部分が内地からの赴任者となっており、島しょの学校での教育活動に意欲をもって取り組んでくださる方を確保することが課題となっています。

一方、島しょの学校は、少人数指導や校種間の連携が図りやすく、豊かな自然や古くからの伝統・文化・各種行事等の教育資源が豊富にあるなど、恵まれた環境にあり、教員の皆様にとっても、内地の学校ではできない経験が多くできます。

そこで、内地の教員の皆様に島の学校をもっと知っていただくため、当出張所では、管内の小中学校に在籍する教員（赴任者）の方を対象にアンケートを行い、別添のとおり、とりまとめました。アンケートでは、島での生活面を含め、島しょの学校での日々の経験から感じていること、学んだことや残念に感じたことなどについてお聞きしました。

アンケートの回答を見ますと、島しょや島しょの学校の魅力、有意義な経験等に関して書かれている一方、研修機会や情報の少なさ、生活面・経済面の不便さや負担、居住環境等に関する記述もありました。そうした面があることは確かですが、例えば、経済面では、へき地手当や遠隔地昇給等の適用があり、住宅の面では、不具合が発生した場合には修繕等の対応を迅速に行うよう努めています。研修機会については、各学校で可能な限り配慮するとともに、当出張所でも旅費等の面で支援をしております。また、各島とも、塾がほとんどない環境の中で、児童・生徒の学力向上を図ることや児童・生徒数が少ないため、交流や競争の機会を確保することが課題となっていますが、こうした課題については、改善・解決に向けて、ぜひ、皆様に積極的に挑戦していただきたいと考えています。へき地・小規模校での経験は、皆様の教員としての幅を拓けることにもつながるものと思います。

別添の回答内容は、教員の方々が記入したものをそのまま掲載しております。ぜひ、各島の教員の方々の生の声に触れていただき、皆様が島しょ地区や島しょの学校への理解を深める上で、参考としていただきたいと考えております。

島しょ地区の学校への異動には、公募制度があります。例年、9月末から10月半ばにかけて、応募の受付が行われます。島しょの学校に興味をおもちの方は、ぜひ公募への応募を御検討いただきたいと思っております。また、来年度の島しょ地区教員公募については、本年7月25日（火）と8月8日（火）の2回、説明会を開催します。各島の学校の状況のほか、生活面や給与・旅費等について全般的に情報が得られる大変良い機会ですので、興味のある方は、ぜひ御参加ください。

これから暑い季節となり、学期の締めくくりの忙しい時期を迎えますが、皆様におかれましては、健康に留意され、ますます御活躍されることをお祈り申し上げます。

平成29年6月15日

東京都教育庁大島出張所長  
吉野 静夫